

所要時間 49分

**町長** 現在、千葉の園芸産地活性化支援事業の中で計画を作成中です。(その中で)大和芋と幾つかの園芸野菜の施設が必要であると意見集約されてきています。町としては、生産者が十分な話し合いのもと、町のさらなる農業振興に必要な施設をJA多古が整備することになれば、組織の自主性を尊重し

**教育長** 合宿体験により、協調性や社会性を養うとともに、(子どもの)自立心を高め、生きる力を育むと同時に、自分や自分の家族を見直す機会となる等の効果があります。キャリア教育の取り組みで小・中学校の連携を進める本町で、このような取り組みは意義のあることだと思います。実施にあたっては、参加

**多古台と商店街の連結は**  
若者にとって魅力あるまちづくりを考えた時、(今後)発展していくであろうニュータウン(多古台)と商店街の連結は、町再生のためにも重要です。  
新町あるいは大原内から多古台に



CSの一環として通学合宿の実現を

**町長** かつて大原内から多古台へ通じる道があったと聞いていますが、現在は、崖崩れなどにより通行できません。ニュータウンと商店街を歩道で結ぶことにより交流が図られ、商店街への集客だけでなく、多古台の公園利用にも有効であると考えます。地区住民からの要望等も踏まえ、検討していきたいと考えています。  
また、切通から広沼に続く高台は眺望も良く、町の公園基本構想では新たな公園施設に位置づけられており、遊歩道も計画されているところ

\*赤道とは…小さな路地や、あぜ道、山道(林道、けもの道)など

**速やかな実施を**

**問** 高齢化や労働力不足の中で、水田におけるライスセンターに相当する畑作の施設が必要です。野菜の洗浄・選果・パッケージ施設です。特産品の大和芋は周年利用できるので問題は少ないですが、他に主力となる作物が必要です。需要も多く、多古の土壌に適し栽培技術も確立している上に、価格保証制度のある人参を柱にしていくなか、意欲も失われていない現在、速やかな実施が求められていますか。

**小学生の通学合宿は**

**問** 3日から1週間程度親元を離れて、団体生活の中で食事や洗濯、掃除などをしながら学校に通う取り組みです。県内でも20以上の市町村で(すでに)実施されています。多古高コミュニティ・スクール(CS)の一環として、高校の合宿所を借り、実行委員会が高校生や大学生の協力を得ての実施が考えられます。教育委員会の考えを伺います。

**問** 野菜の洗浄、選果、パッケージ施設を速やかに  
**答** 組織の自主性を尊重し協力していきたい

た上で協力したいと考えています。

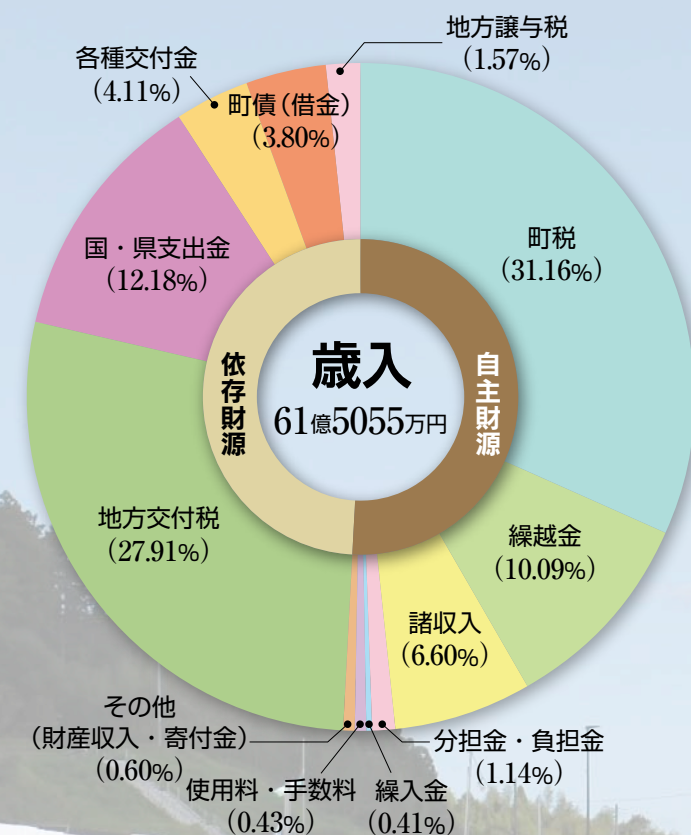


那須 保秋 議員

継続歩行者専用の道路を、赤道(あかど)を利用しながら考えてみてはいかがでしょうか。桜やアジサイを植え、広場やあずまやを造り、大宮大神や妙光寺等に寄りながら、切通から広沼まで高台をつなぐ遊歩道になれば、交流と共に観光や健康づくりに貢献できると思います。町の考えを伺います。

# 平成24年度 一般会計の内訳

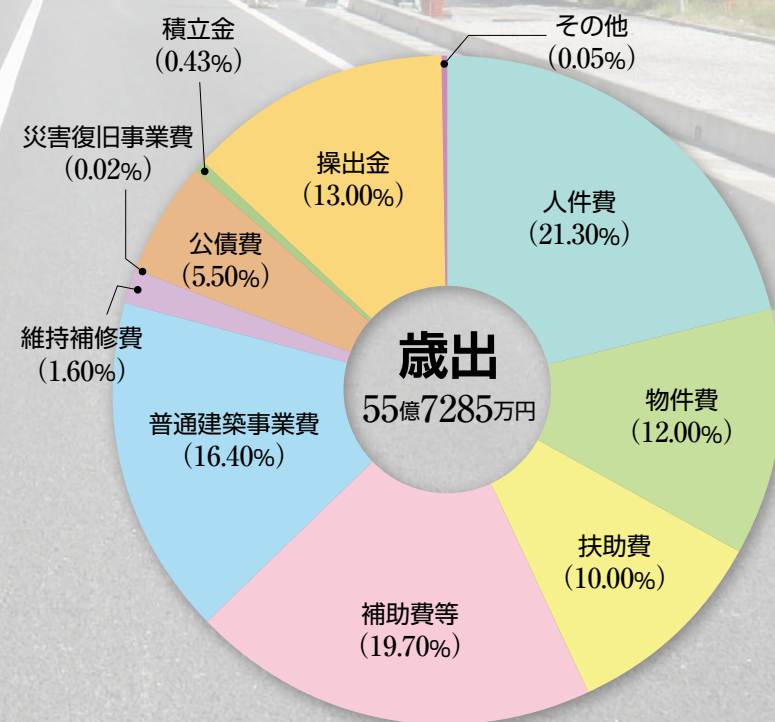
※( )内は構成比率



自主財源…31億6,061万円(50.4%)  
依存財源…30億4,994万円(49.6%)

項目	金額	説明
人件費	11億8733万円	特別職及び職員の給料等(内議員分は5.4%)
物件費	6億6787万円	賃金・委託料・備品等の購入費
扶助費	5億5620万円	子ども医療費や子ども手当等
補助費等	10億9962万円	補助金や負担金として支出するもの
普通建設事業費	9億1289万円	こども園の建設や道路改良費
維持補修費	9210万円	施設等の補修に使う費用
災害復旧事業費	93万円	災害による復旧工事等に使う費用
公債費	3億640万円	町の借金を返済するために使う費用
積立金	2332万円	町の基金に積み立てる費用
繰出金	7億2364万円	特別会計や企業会計に繰り出す費用
その他	255万円	拠出金や預託金に使う費用
合計	55億7285万円	

項目	金額	説明
町税	19億1705万円	町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税
地方交付税	17億1628万円	どの市町村でも同じ行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
国・県支出金	7億4960万円	国や県が目的を特定して交付するお金
繰越金	6億2083万円	前年度からの繰越金
諸収入	4億543万円	雑入・延滞金・受託料等
各種交付金	2億5324万円	地方消費税交付金・自動車取得税交付金等
町債(借金)	2億3420万円	町が事業を行うために借り入れるお金
地方譲与税	9662万円	国税として徴収され一律的に市町村に譲与されるお金
分担金・負担金	7061万円	保育所保育料・学童保育料等
繰入金	2563万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
使用料・手数料	2681万円	幼稚園保育料・あじさい館使用料・各証明手数料等
その他	3425万円	基金利子・土地売却収入・一般寄附金等
合計	61億5055万円	



差引額5億7770万円は次年度へ繰越